

ちからこぼ

福祉通信「ちからこぼ」2017年3月号 あせがみ ひろひと 畔上 博仁 書

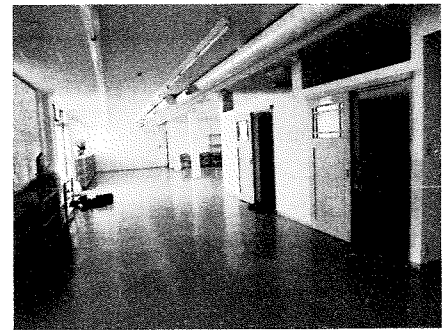


新ももの木 開所!

2月16日(木)、新ももの木が完成し利用者の皆様、職員一同は嬉しい気持ちで開所式を迎えました。ご来賓各位、利用者の皆様・ご家族様、大勢の方々のお力添えによりまして、ももの木の新たなスタートを執り行えたことを感謝申し上げます。

利用者の間ではどんな作業場になるのか、工事の進み具合が話題となり、様々な思いを巡らせ、完成するのを心待ちにしていました。利用者の皆さんは、新天地で仕事に対する意識や集中力も高まりはつらつとしています。

これからも皆さんで工夫をしながら、今まで同様お互いに声をかけあい、仕事に励み、増々明るいももの木にしていきたいと思えます。



【新ももの木連絡先】

山ノ内町大字平穩 4127-75

電話：38-1503

FAX：38-1504

有線：4443

住所変更の
お知らせ

この人に注目

あせがみ ひろひと
畔上 博仁さん

今月の表題を書いてくださったのは、ももの木利用者の畔上博仁さんです。ももの木までは自宅から歩いて出勤をしています。「新しいももの木はキレイです。新しい場所だけど、すぐに慣れるから大丈夫。頑張って仕事をしたいです。」と話されました。

仕事を終え、「楓の湯」でお風呂に入り1日の疲れを取ってから帰る事が日課となっています。

畔上さんは時刻表を覚えるのが得意です。「出掛ける事が好きです。電車とバスを使って飯山の雪祭りへ行きました。3月はももの木の余暇活動で大衆演劇を観に行行って楽しかったです。」と笑顔で話されました。



News

○いきいきサロンの集い○

2月5日(日)

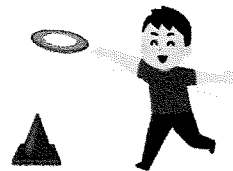
町内で活動をしているいきいきサロン(お茶のみ会)の代表者21名が集まり、サロンで使える軽運動や情報交換会を行いました。

近年は、サロン団体から「楽しく体を動かしたい」という希望が多く挙がっていることから町役場教育委員会担当者から“ニュースポーツ”のラダー・ゲッターとスカイクロスを教えていただきました。誰でも簡単にできる種目で、初めての挑戦でも楽しむことができました。



後半の情報交換会では、実施主体も様々な各団体がグループになり、サロン自慢や役員としてサロンを運営していて良かった事、また、他の団体の話を聴き自分たちの団体には無い発見をしました。

※ニュースポーツとは??…
「誰でも、いくつからでも、いつまでも楽しめる」ことのできることを目的に考えられたスポーツの総称



スカイクロスはフリスビーのようなリングをコーンに投げ入れる輪投げのようなスポーツ

○つみきの寄贈○

2月14日(火)

ボランティアの方が作った「つみき」を、子育て支援センターゆめっこへ寄贈しました。このつみきは発砲スチロールとダンボールできていて、万が一当たっても安全ということもあり、町内の保育園や児童クラブで好評の「つみき」です。当日、子供達に直接渡すことができませんでしたが、お礼に手作りのティッシュケースをプレゼントされました。ボランティアの方はとても感激され励みになると話してくださいました。



○ほのぼの意見交換会○

2月16日(木)

配食ボランティア「ほのぼのグループ」のみなさんが集まり、自分たちで作ったお弁当を試食しながら意見交換会を開催しました。町健康福祉課長、社協会長が出席され、和やかな雰囲気の中で自由に意見交換をしました。利用者アンケートの報告では「どれもおいしいです。いつもありがとう」などの感謝のコメントも寄せられ、心温まる一面もありました。また参加者からも「食事管理だけでなく安否確認も兼ねて継続していきたい」という心強い発言もあり、みなさんのやる気に繋がっていました。

「ほのぼのグループ」は、毎週木曜日にお弁当の調理・配達をしてくださっているボランティアです。参加してみたい、見学してみたいなど、ご興味がありましたらお気軽にお問い合わせ下さい。



今日の献立
豚肉のマヨネーズ焼き
大根とひじきの煮物
かぼちやのごま煮
厚焼き卵
白菜の浅漬け
りんご
きのこの混ぜご飯

Information

知的障害児者・自閉症児者のための生活サポート総合補償制度

ながの知的障がい児者生活サポート協会は、助け合うという互助の精神を柱に、知的障害児者・自閉症児者の皆さまをかけがえのない存在として捉え、より豊かな生活が送れるよう支援しています。

当協会にご入会いただくと、疾病やケガの入院や賠償事故などを補償する「生活サポート総合補償制度」をご利用頂けます。この保証制度は知的障害児者、自閉症児者の方が抱える様々なリスクを補償するために開発された制度です。

特長

1. 入院給付金は既往症の病気、てんかんも補償。
2. 個人賠償は最高3億円まで補償。
3. 年齢にかかわらず、知的障害児者、自閉症児者の方であればご加入いただけます。

【生活サポート総合補償制度】の主な特長

- ★ご加入に際して健康診断や、医師の診察は必要ありません。
- ★ケガや病気による入院が補償の対象となります。
- ★入院給付金は、既往症やてんかん発作による入院をはじめ治療のための検査入院でも補償の対象となります。

被保険者（補償の対象者） 知的障害児者または自閉症児者
補償期間（保険のご契約期間）

2017年4月1日から2018年4月1日午後4時までの1年間

| 加入日 毎月1日 午後4時 | 掛金（保険料） 2016年9月1日現在 | |
|---------------------|---------------------|------------------|
| | 入院2日目から補償プランB | 入院4日目から補償プランA |
| 4月1日 | 23,000円（19,810円） | 17,000円（14,810円） |
| 5月1日 | 20,840円（17,700円） | 15,320円（13,140円） |
| 6月1日 | 19,150円（16,130円） | 13,930円（11,960円） |
| 7月1日 | 17,240円（14,500円） | 12,540円（10,750円） |
| 8月1日 | 15,320円（12,880円） | 11,140円（9,550円） |

【他人に損害を与えた時の補償】 個人賠償責任保険金

◆友達の家のトイレにタオルを落として詰まらせてしまった。



お支払保険金合計
100,000円（修理費）

【問い合わせ】

（手をつなぐ育成会事務局）
山ノ内町社会福祉協議会
電話：33-1105 有線：2830
つつみ住民活動センター
電話：33-2810 有線：4280

【加入に関するお問い合わせ先】
ながの知的障がい児者
生活サポート協会
電話：026-227-6811

◆買い物支援『わくわく商店街』開催日のお知らせ◆

町内の商店が集まりミニスーパー『わくわく商店街』を開催中！

- 開催日 毎月第2・4水曜日
- 時間 午前10時00分～午後12時30分ごろまで
- 場所 つつみ住民活動センター
- 出店内容 生鮮食料品、製菓、日用品、衣料品等
- 問い合わせ 町社会福祉協議会 電話：33-1105 有線：2038
町商工会 電話：33-5666 有線：2052

| 開催月 | ① | ② |
|--------|----|----|
| 4月 | 12 | 26 |
| 5月 | 10 | 24 |
| 6月 | 14 | 28 |
| 7月 | 12 | 26 |
| 8月 | 9 | 23 |
| 9月 | 13 | 27 |
| 10月 | 11 | 25 |
| 11月 | 8 | 22 |
| 12月 | 13 | 27 |
| H30年1月 | 10 | 24 |
| 2月 | 14 | 28 |
| 3月 | 14 | 28 |

◆◆◆ボランティア活動保険◆◆◆

ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや損害賠償責任を補償します。安心した活動をしていただく為に、ボランティア活動を始める前に加入をお願いします。

【年間保険料（掛け金）】

| | | |
|-------|----------|----------|
| 基本タイプ | A 350円 | B 510円 |
| 天災タイプ | 天災A 500円 | 天災B 710円 |

加入・更新の手続き・お問い合わせは社会福祉協議会までご連絡下さい。



お待ちしております！

～社協の予定～

| | | | |
|----|----|---|---|
| 3月 | 9 | 木 | ・ほのほのランチ |
| | 10 | 金 | ・脳元気教室 |
| | 11 | 土 | |
| | 12 | 日 | |
| | 13 | 月 | 赤十字奉仕団委員会 (19:00～) |
| | 14 | 火 | ・結婚相談所 ・脳元気教室 |
| | 15 | 水 | 町連族会理事会 (13:30～) |
| | 16 | 木 | ・ほのほのランチ |
| | 17 | 金 | ・脳元気教室 |
| | 18 | 土 | 22日 ケーゴル ゲーム愛好会総会 (町文化センター) |
| | 19 | 日 | 23日 男衆会議 (善光寺) |
| | 20 | 月 | 【春分の日】 デイサービス等営業 |
| | 21 | 火 | ・結婚相談所 ・脳元気教室 ・手芸教室 (福祉センター) |
| | 22 | 水 | ・わくわく商店街 (御代田町社協視察) |
| | 23 | 木 | ・ほのほのランチ ・AM 社協理事会 |
| | 24 | 金 | ふれあい広場実行委員会 (福祉センター) ・脳元 気教室 |
| | 25 | 土 | ランドセル収集活動 時間：10時～12時 場所：つつみ住民活動センター |
| | 26 | 日 | |
| | 27 | 月 | ・PM 社協評議員会 |
| | 28 | 火 | ・結婚相談所 ・脳元気教室 |
| | 29 | 水 | 余暇活動 (茶話会) |
| | 30 | 木 | ・ほのほのランチ |
| | 31 | 金 | |
| 4月 | 1 | 土 | |
| | 2 | 日 | |
| | 3 | 月 | |
| | 4 | 火 | ・結婚相談所 ・脳元気教室 |
| | 5 | 水 | 封筒づくりボランティア (つつみ住民活動センター) |
| | 6 | 木 | ・ほのほのランチ |
| | 7 | 金 | ・脳元気教室 |
| | 8 | 土 | |
| | 9 | 日 | |



ワンポイント介護④

～認知症によるもの忘れと、加齢によるもの忘れ (生理的老化)の違い～

例えば昨日の夕食をたずねた時、加齢によるもの忘れの時は「何を食べたか忘れてしまった」となりますが、認知症の場合は食べたこと自体を忘れてしまうことがあります。

生理的老化

一部分のもの忘れ
自覚がある
進行しない

生活に支障はない

認知症の症状

体験全体のもの忘れ
自覚が少ない
進行性で悪化する

生活に支障をきたす

他にも認知症の症状によって、通いなれた道でも迷ってしまったり、家にあるのに同じものをたくさん買ってしまったりがあります。そんな時認知症の方はこんな風に考えているかもしれません…



・どうして同じものばかりたくさん買うのよ？
・まだ家にいっぱいあるのに…

つい…こうってしまう
(介護者の気持ち)



・これがほしかつたんだ
・私にお金を使わせないつもりだ

認知症の人の気持ち



・すぐそこなのに、どうしてわからないのかしら？
・また迷ったの？

つい…こうしてしまう
(介護者の気持ち)



・ここはどこだろう？
・だから出かけるのはイヤなのよ

認知症の人の気持ち

身近に認知症の方がいる方は、ぜひ認知症の人の思いを少しずつ思いうかべてみて下さい。

編集後記

今年は朝起きて雪かき… 仕事から戻って雪かき… 休みの日は屋根、歩道等の雪かたづけ… と毎日が雪との戦いでした。毎年、和室の襖が開かなくなるのが、我が家の屋根の雪を降ろすサインになっていますが、今年は和室の他にも襖が開かなくなり、急いで屋根に上ったらなんとその雪の量にビックリ！ 少なすぎても困るし、降りすぎても困るし、何でもほどほどが一番なのかなと思いました。～早く春がこないかな～ (Y)

社 是 安全・尊厳・満足 =地域住民のみなさまと共に歩む社協=
●福祉通信ちからこぶ 平成29年3月9日発行
●発行者 社会福祉法人山ノ内町社会福祉協議会
●〒381-0401 長野県下高井郡山ノ内町大字平穏3371-2(山ノ内町地域福祉センター内)
●TEL 0269-33-1105 FAX0269-33-8413
●URL http://www.honobono-shakyo.or.jp
●E-mail info@honobono-shakyo.or.jp ●印刷 山ノ内町社会福祉協議会